

「おめでとう、恵まれた方」

1. はじめに

- ・ イエス様の生れる前の経緯と時代背景。
- ・ ルカのこの箇所とマタイの 1 : 18 ~ 25 を考える。ルカはマリア側の説明、マタイはヨセフ側の説明。
- ・ ガブリエルの告知に強調されているのは「聖霊の働き」です。

2. 本文

a) 26 ~ 38 (御使いとマリア)

①御使いがマリアのところに来た。②マリアに受胎告知をした。③御使いは、生れて来る子はどのような人となるか説明。④聖霊によって生まれる。⑤神にとって不可能はない。⑥受胎告知の受け入れ。

- ・ 32節「その子は大いなる者となり、いと高き方の子と呼ばれます。また神である主は、彼にその父ダビデの王位をお与えになります。」
- ・ 35節「御使いは彼女に答えた。『聖霊があなたの上に臨み、いと高き方の力があなたをおおいます。それゆえ、生れる子は聖なる者、神の子と呼ばれます。』
- ・ 38節「マリアは言った。『ご覧ください。私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。』

* マタイ 1 : 18 ~ 25 (ヨセフ側からの記録)

- ・ 18節：母マリアはヨセフと婚約していたが、二人がまだ一緒にならないうちに、聖霊によって身ごもっていることが（ヨセフは）分かった。
- ・ 19節：夫のヨセフは正しい人で、マリアをさらし者にしたくなかったので、ひそかに離縁しようと思った。
- ・ ヨセフの苦悩。そして御使いからの知らせ。

b) 39 ~ 55 エリサベツとマリアの交わり

- ・ 42節「あなたは女の中で最も祝福された方。あなたの胎の実も祝福されています。」
- ・ 45節「主によって語られたことは必ず実現すると信じた人は、幸いです。」
- ・ 46 ~ 55 マリアの応答 (マリアの賛歌—マグニフィカト・あがめる)
- ・ 51節「主はその御腕で力強いわざを行い、心の思いの高ぶる者を追い散らされました。」
- ・ 52節「権力のある者を王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げられました。」
- ・ 53節「飢えた者を良いもので満ちたらせ、富む者を何も持たせずに追い返されました。」

3. まとめ (私たちの約束は何か)

- * マリアの信仰 38節「ご覧ください。私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおり、この身になりますように。」
- * エリサベツの祝福 45節「主によって語られたことは必ず実現すると信じた人は、幸いです。」